

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 出エジプト記 28:40-41・・御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 21番 力の主を
- *交読文 6番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 176番 きよきみ霊よ
- 礼拝のための祈り 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 聖餐式 281番 しみもとがも
- メッセージ 主から用いられやすい人となるために(1コリント13章)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 178番 恵みふかきみ神よ
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____をあなたのもとにこさせ、祭司としてわたしに仕えさせ、また____のために聖なる衣服を作って、彼に栄えと麗しきをもたせなければならない。・・・また____のために下服を作り、彼らのために帯を作り、彼らのために、ずきんを作って、彼らに栄えと麗しきをもたせなければならない。そしてこれを____および彼と共にいるその子たちに着せ、彼らに油を注ぎ、彼らを職に任じ、彼らを聖別し、祭司として、わたしに仕えさせなければならない。・・・____は会見の幕屋に入る時、あるいは聖所で務をするために祭壇に近づく時に、これを着なければならない。そうすれば、彼らは罪を得て死ぬことはないであろう。これは彼と彼の後の子孫とのための永久の定めでなければならない。(出エジプト記 28:1-2,40-43)

____よ、さめよ、さめよ、力を着よ。聖なる都____よ、美しい衣を着よ。割礼を受けない者および汚れた者は、もはや____の所に入る事がないからだ。捕われた____よ、____の身からちりを振り落せ、起きよ。(イザヤ 52:1-2)

ここ数週間、聖霊について学ばされている。聖霊に満たされた人は、力を受け、イエス・キリストの強力な証人となり、働くべき場が、自分の生活ステージ周辺から、外へと大きく広がり、地の果てにまで至っていく。今回、どのような人が、主から用いられやすく、働き場の場が速やかに広がって行くのかを学びたい。

『また舌のようなものが炎のように分れて現れ、一人一人の上に留まった。すると一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、色々の「他国の言葉(ヘテロス・グロッサ:異なる舌)」で語り出した。』(使徒 2:3-4)

聖霊に満たされた人の最たる特徴は、「舌」が変わる事である。それまで人間同士で、肉欲に属する言葉で話していた舌が変わり、「神の国の大いなる事」を語りだすようになる(11節)。聖霊はイエス・キリストを栄光化する霊であり、聖霊に満たされた人の特徴は、神の国を拡大して行く事である。それとは反対の人、肉欲の中を生きる人や、悪魔サタンの特徴は、高慢、自己栄光化である。(イザヤ 14:12-15)

そもそも、なぜ世界にはこんなにも多くの言語が存在するのか。元を辿って行けば、バベルの塔の事件に行き着く。バベルの王・ニムロデは、主の「前に(パニーム:敵対する)」「狩猟する者(ツァイード:追跡者)」であった(創世記 10:9)。彼は人のいのちを追跡し、力で制圧してのし上がった最初の王である。彼がバベルの塔を建てた動機は、人を一つに束ね、名を上げ、神のように高くなる事だった(創世記 11章)。

そこで神は「われわれは下って行って、そこで彼らの言葉を乱し、互に言葉が通じないようにしよう」(11:7)と、三位一体の神が彼らに敵対し、言語はバラバラになった。高慢・自己栄光化の実は、分裂・分散である。対して、主に有用に用いられる「御霊の人」が結ぶ実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制である(ガラテヤ 5:22-23)。これらの実を結んでいるかどうかで、有用な働き人かどうか分かる。

その中で最も優れた道は、愛である(第一コリント 13章)。それは御霊のどんな賜物より遥かに優れている。クリスチャンの中には、確かに「すごい」と思える人は、いる。霊的な、超自然的な力を持っている人が。しかし、その「すごさ」を持っている事と、主に大いに用いられる器かどうかは、別の話である。賜物は無償で頂いた贈り物であって、本人自身が自慢できる事ではない。むしろ**重要なのは、愛があるかどうかだ**。もし愛が無いなら、それらはやかましいどら、「うるさい(アララゾー)」シンバルである。(1コリント 13:1) アララゾーとは元々、「アララー！」と大声で叫ぶ鬨の声の擬音で、やかましく喚きちらす事の意味だ。愛が無い人は、不寛容であり、不親切であり、よく妬む。高慢であり、自慢し、礼儀に反する事をし、自分の利益を求め、怒りに任せ、人のした悪を勘定し、不正を喜び、真理を喜ばない。いかに預言の言葉を語っても、あらゆる奥義や、あらゆる知識とに通じていたとしても、また、山を動かす程の完全な信仰を持っていたとしても、愛がないなら、それらはむしろやかましい、すぐにでも止めて欲しい騒音へと随ってしまう。

自分の言動に気をつけている人こそ、有名人になったら長続きする。同様に、寛容であろう、謙虚であろう、礼儀正しくであろう、と、努力し続ける人こそ、速やかに主に用いられる。言動に無頓着であるとするなら、すぐ人に、サタンに、責められてしまう口実を得させてしまい、活躍のステージから引き降ろされてしまう。言動に気を配り続ける人こそ、主に用いられる事が長続きする。だから、よくよく気をつけるべきである。ペテロはペンテコステ以前、くちびるが回りすぎて過ちを犯す人だった。変貌山においても、あの鶏が啼いた晩においても(マルコ 9:6、14:29-72)。しかし聖霊の炎が留まった時、彼のくちびるは変えられた。預言者イザヤも、そうだった。彼は主の栄光を見せられた時、特に「くちびるが汚れている」事で絶望した。しかし彼のくちびるは祭壇の炭火によって清められ、そうして預言するに値する者となった。(イザヤ 6章)

聖霊によって、くちびるが清められないなら、大いに用いられる事はない。**祭司は、栄光と美を表す聖なる装束を着て、はじめて任職の油が注がれる**(出エジプト記 28章)。ペテロもかつてはくちびるが回り過ぎて過ちを犯してしまっていたが、聖なる炎によって清められたその日、彼の説教で3000人が救われた。主はこの時代、くちびるがきよい人、用いられるべき器が、少ない、と、嘆いておられるのではなからうか。私達は「用いられますように」と祈る前に、人を傷つけたり、言ってはならない言葉を滑せたりする口が、聖なる火によって清められるように、祈り求めるべきだ。そしてくちびるにおいても、行いにおいても、よく気をつけ、御霊の実である愛がしたたるような者となって、主から大いに用いられる皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube